

岡山市民版

市政 スポット

6月定例岡山市議会が6日閉会した。4月の改選後初の定例会は、懸案となっている議員の定数問題が浮上。現行52の定数を9減の43とする条例改正案が議員提案されたが、継続審査となり、結論は先送りされた。一方、質問戦では東日本大震災を踏まえた市の防災対策でも論戦が交わされた。（新居田崇）

6月議会を振り返って

6日午後6時15分すぎの市議会本会議場。議員が次々と演台に上り、賛成の白札か、反対の青札を投じた。

手ボリ公園誘致に絡んで百条委員会設置を決議した1990年以来、岡山市議会が21年ぶりととなった記念投票。今回は定数9減案を継続審査とすることの是非をめぐり、議長を除く出席議員49人が札を投じた。

溝埋まらず

市議会の定数をめぐっては昨年4月以降、市連合町内会、市連合婦人会、岡山商工会議所が、市の

定数9減案 継続審査

厳しい財政状況などを理由・政隆会の浦上雅彦氏が「じり」と批判するなど、由に相次いで定数削減を代表質問で定数9減案を「さや当て」を演じた。要望。4月の市議選で大主張。一方、市民ネットワーク 定例会会期中、全6会 継続審査となったこと大きな争点となった。6月定例会で議論あり、6月定例会で議論が本格化した。

質問戦でも、最大会派



議員定数削減案の継続審査をめぐって記名投票が行われた6月定例岡山市議会＝6日

する政隆会と、慎重議論などを求める他会派の溝は埋まらないまま、結局、政隆会14人は無所属の松島重綱氏を加えた計15人で9減案を提案、見切り発車の形となった。市議会では2009年の9月定例会でも新風会が定数48とする条例改正案を提案したが、本会議で採決されず、みなし否決となった。今回は議案運営委員会に付託された。集中審議が行われたものの、休憩を挟んで約3時間半に及んだ審議は堂々巡りに終り、議決は多数決で継続審査となり、本会議の記名投票で

さとう人海の個人質問に対する当局の答弁です。

震災後初の定例会 防災対策でも論戦

の議長選のしりや、各会派の思惑が複雑に絡み合っており、「一筋縄にはいかない」との声も聞かれる。

35人が登壇

新人15人を含む計35人が登壇した6月定例会質問戦は、東日本大震災から初の定例会とあって、市の防災対策を多くの議員が取り上げた。

市側は、市地域防災計画を本年度中に見直し、津波を想定した避難所確保へ早期に取り組みことを表明。橋や下水道、校舍などの耐震補強を急ぐとともに、市民への災害情報の伝達手段を充実させる意向も示した。

6月定例会はこのほか、サッカーJ2のフアジアーノ岡山の専用練習場を岡東浄化センター（東区升田）に整備するための約2億1千万円の補正予算案を可決。本年度から測量設計や土地造成に入る見通しとなった。